CDDシリーズ

ブラケット使用時のチルト・パン最大角度について

※CDD6・8・10・12用ウォールブラケットの最新モデルでは、別売りのウォールスペーサーキットを使用することで
チルトおよびパンの最大角度を拡張できます。

			縦向き	横向き（平らな側面を右側、カーブした側面を左側）	横向き（平らな側面を左側、カーブした側面を右側）
CDD5	ウォールブラケット	下振り	0 ～ 70°	0 ～ 60°	0 ～ 60°
		上振り	0 ～ 25°	0 ～ 45°	0 ～ 45°
		左振り	0 ～ 45°	0 ～ 45°	0 ～ 30°
		右振り	0 ～ 45°	0 ～ 30°	0 ～ 45°
	シーリングブラケット	下振り	–	0 ～ 60°	0 ～ 60°
		上振り	–	0°	0°
		左振り	–	0 ～ 45°	0 ～ 30°
		右振り	–	0 ～ 30°	0 ～ 45°
CDD6	ウォールブラケット	下振り	0 ～ 25°	0 ～ 20°	0 ～ 20°
		上振り	0°	0°	0°
		左振り	0 ～ 55°	0 ～ 45°	0 ～ 20°
		右振り	0 ～ 50°	0 ～ 20°	0 ～ 45°
	シーリングブラケット	下振り	–	0 ～ 35°	0 ～ 35°
		下振り	–	0°	0°
		左振り	–	設置時に調整	設置時に調整
		右振り	–	設置時に調整	設置時に調整
CDD8	ウォールブラケット	下振り	0 ～ 20°	0 ～ 25°	0 ～ 25°
		上振り	0°	0°	0°
		左振り	0 ～ 45°	0 ～ 20°	0 ～ 15°
		右振り	0 ～ 45°	0 ～ 15°	0 ～ 20°
	シーリングブラケット	下振り	–	0 ～ 35°	0 ～ 35°
		上振り	–	0°	0°
		左振り	–	設置時に調整	設置時に調整
		右振り	–	設置時に調整	設置時に調整
CDD10	ウォールブラケット	下振り	0 ～ 30°	0 ～ 25°	0 ～ 25°
		上振り	0°	0°	0°
		左振り	0 ～ 40°	0 ～ 20°	0 ～ 15°
		右振り	0 ～ 45°	0 ～ 15°	0 ～ 20°
	ヨーク	下振り	–	0 ～ 90°	0 ～ 90°
		上振り	–	0 ～ 90°	0 ～ 90°
		左振り	–	設置時に調整	設置時に調整
		右振り	–	設置時に調整	設置時に調整

		縦向き	横向き(平らな側面を右側、カーブした側面を左側)	横向き(平らな側面を左側、カーブした側面を右側)
CDD12 ウォールブラケット	下振り	0 ～ 25°	0 ～ 25°	0 ～ 25°
	上振り	0°	0°	0°
	左振り	0 ～ 45°	0 ～ 25°	0 ～ 15°
	右振り	0 ～ 40°	0 ～ 15°	0 ～ 25°
ヨーク	下振り	–	0 ～ 90°	0 ～ 90°
	上振り	–	0 ～ 90°	0 ～ 90°
	左振り	–	設置時に調整	設置時に調整
	右振り	–	設置時に調整	設置時に調整
CDD15 ウォールブラケット	下振り	0 ～ 30°	0 ～ 30°	0 ～ 30°
	上振り	0°	0°	0°
	左振り	0 ～ 54°	0 ～ 34°	0 ～ 21°
	右振り	0 ～ 53°	0 ～ 21°	0 ～ 34°
ヨーク	下振り	–	0 ～ 90°	0 ～ 90°
	上振り	–	0 ～ 90°	0 ～ 90°
	左振り	–	設置時に調整	設置時に調整
	右振り	–	設置時に調整	設置時に調整

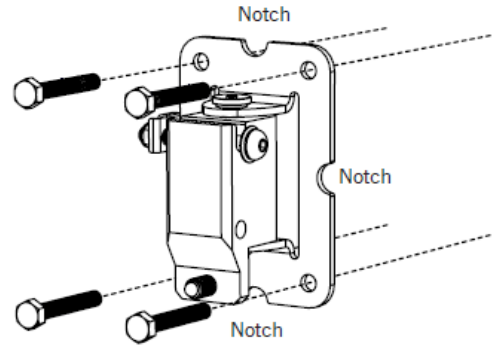
ウォールスペーサーキット(別売り)

ウォールスペーサーキットには以下の2種類があります。

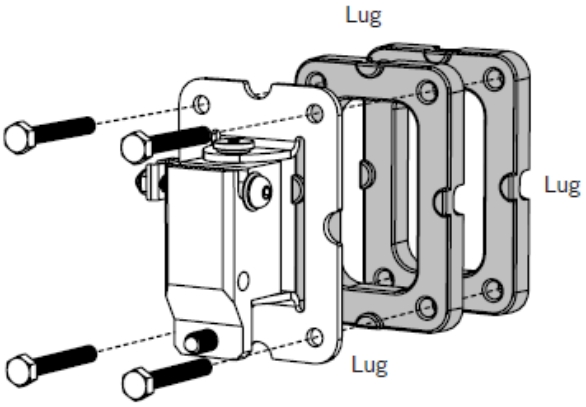
- SP6/8:CDD6・CDD8用ウォールブラケット(WB6/8)に使用できます。
- SP10/12:CDD10・CDD12用ウォールブラケット(WB10/12)に使用できます。

本製品を使用することで、可動する最大チルト角およびパン角を拡張できます。

- 各キットには、スペーサーが1ペア含まれています。
- スペーサーの厚さは約10 mm(0.4インチ)です。
- ウォールブラケット1つにつき、必要に応じて1個または2個のスペーサーを背面に装着してください。
- カラーはブラック(SP6/8-BおよびSP10/12-B)とホワイト(SP6/8-WおよびSP10/12-W)をご用意しています。
- 本製品は最新バージョンのウォールブラケットにのみ対応しています。最新バージョンには、壁側パーツの外側に4つのノッチ(切り欠き)があります。



- 各スペーサーの前面には、ブラケットのノッチ(切り欠き)にはまり込む4つの突起(ラグ)があります。
また、背面には4つのノッチがあり、2個目のスペーサーの突起と連結できるようになっています。



- 本製品は、ノッチ(切り欠き)のない旧バージョンのウォールブラケットには対応していません。

チルト角・パン角への影響

これらのスペーサーがチルト角およびパン角に与える影響の例として、WB6/8ブラケットを使用してCDD8を横置きにした場合の最大パン角を以下に記載します。

- スペーサーなし:20°
- スペーサー1個:35°
- スペーサー2個:42°

横置きにおける最大パン角は、スピーカーの曲面側を壁側に向けて設置したときに得られます。なお、スピーカーは上下どちらの向きでも取り付けられるため、左右いずれの方向でも最大パン角を確保することができます。